

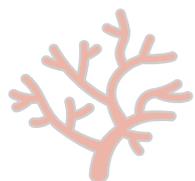
慶良間諸島国立公園
ステップアップ
プログラム2025

取組推進のための
ワークショップ

ニュースレター
Vol. 6

国立公園満喫プロジェクトの取組の一つである「ステップアッププログラム2025（以下、SUP2025）」で挙げられた地域の取組を具体的に進めることを目的に、令和4年度から地域関係団体の実務担当者が参加するワークショップを開催しています。

令和6年度第1回ワークショップでは、今後の取組を進める上での課題について、参加者全員で解決方法や連携・協働の可能性等について意見交換を行いました。



第1回ワークショップ
2023年度の取組を振り返り、
取組を進める方法をみんなで考えよう！



開催概要

【座間味村】

日 時：2024年6月3日(月) 12:45～14:45

場 所：座間味村コミュニティセンター

参加者：地域関係者 13名

【渡嘉敷村】

日 時：2024年6月4日(火) 17:30～19:30

場 所：渡嘉敷村中央公民館 研修室

参加者：地域関係者 6名

当日のプログラム（両村共通）

- 1 開会
- 2 各参加者の状況報告
- 3 意見交換テーマ紹介
- 4 意見交換
- 5 閉会



ワークショップでは、各参加者から取組の進捗状況・課題が共有され、その後、事前に挙げられたテーマについて活発な意見交換が行われました。以下に、話し合いの内容をご紹介します。

意見交換の概要@座間味村



テーマ	現状・課題	挙げられた主なアイデア
<p>冬季の 集客コンテンツ ／冬季に島で できる観光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在夏季に入域者数が集中しているので、集客のばらつきを減らしたい。そのため冬季の島でできる観光を検討したい。 ● 阿嘉島はコロナ前より団体客が減少。冬場は、船の欠航が多くダイビングや釣りを開催できる日は少ない。 ● 冬のアクティビティとして、プラネタリウムや展望台めぐり、釣りツアー、ドローンツアー、島の案内、桜の花見紹介等が行われた。 ● 星空ツアーや伝統帆掛け船サバニ乗船体験をはじめ、自転車のツアーやトレッキング等、山のアクティビティも検討している。 ● ノープランで来島する観光客に対し、予約が必要なアクティビティや飲食店の営業情報の確認・提供が難しい。 ● 展望台めぐりについて、年配の観光客は体力や運転の面から単独で行うのが難しい。 	<p><展望台めぐり></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 村のバスに展望台へ行けるルートがあると良い。役場との話し合いが必要。 ◇ 展望台で座間味の特徴ある探鯨の様子をガイドすると良い。 <p><観光環境の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 宿泊客以外の観光客も休息できるような場所づくりを検討したい。 ◇ 桜の花見ができる場所や山の遊歩道整備、ハングライダー体験等があると良い。そのために、山の整備やその管理が必要。 <p><新しいツアーの検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 釣った魚を食べるツアーの需要があるかもしれない。 ◇ ボラケーションツアー等自然環境を保全するツアーがあると良い。 ◇ 島あっちいや島まーる等から反応が良かった観光体験を組み込むのも良い。 ◇ 島の紹介ガイドを増やせると良い。島の認知度の向上や移住者の島に対する理解を深めることに繋がる。 <p><観光客について></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 訪れる観光客を大事にしたい。その観光客達が SNS で慶良間について情報発信をしてくれるため、結果宣伝につながる。 ◇ 集客のほか目標とする単価を上げたり、富裕層や環境意識の高い観光客を客層として視野に入れたい。そのために、自分たちのサービスの見直しや向上する意識を持つ。
<p>海の利用ルール ／ルールの周知 と話し合いの場 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 海の利用について、島の自主ルールを守らない業者がいる。 ● 現在は各団体で個別に対処。 ● 自主ルールは、各団体に問い合わせたり、エコツーリズム推進法のガイドラインを確認する必要がある。 ● 以前エコツーリズム推進協議会で海の利用について自主ルールを作成したが、規約未成案により実行できていない。 ● 海の利用を話す場として、エコツーリズム推進協議会の今後の運営は検討が必要。 ● 他の地域から来た人にもわかりやすく情報提供できる仕組みを作ることで、海の利用ルールを普及したい。 	<p><エコツーリズム推進協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ エコツーリズム推進協議会及びサンゴ礁保全利用部会で作成した海の利用ルールを実施できるようにするとよい。 ◇ 設立時と異なり団体のメンバーが変わり、新たな業者もいるため、運営や規約等の再検討が必要。 <p><ルールの周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ルールブックを作成したい。各団体の海の利用ルールを照らし合わせたり、現在の課題を抽出し、誰でもわかりやすいものがあると良い。 ◇ 宿など観光客が目につきやすい場所に海の利用ルールをまとめたものがあると良い。

意見交換の概要@渡嘉敷村

テーマ	現状・課題	挙げられた主なアイディア
閑散期における座間味・渡嘉敷一体のイベント	<ul style="list-style-type: none"> ● 閑散期の対策として定期的に行える小規模のイベントを想定している。 ● 商工会だけでなく渡嘉敷村全体の課題であり、取り組むためにはハードルがあるという意見もある。 ● 役場同士では話し合いをしているが予算や実行部隊などの調整が必要である。 ● エコツーリズム推進法の実施を目指してダイビング協会が長年取り組んでいる課題である。 ● 座間味村と渡嘉敷村商工会の青年部は連携ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 修学旅行として一泊は座間味村、もう一泊は渡嘉敷村に宿泊してもらおう。 ◇ 座間味村のホエールウォッチング協会と連携をしているが、渡嘉敷村の協会は設立間もないため一体のイベントは難しい。そのため両協会と業務提携ができないか協議している。 ◇ 慶良間諸島国立公園として1つの目標などがあればよい。 ◇ 土曜に渡嘉敷村、日曜に座間味村と連続して祭りを開催するのがよい。 ◇ ビーチクリーンなど環境の保全につながるイベントがよい。 ◇ 最初から大きいイベントを開催するのではなく、ビーチクリーンなどを継続しながら少しずつ広げていけばよい。
阿波連の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 阿波連区の役員の中では環境整備を進める意向であり、保安林解除の手続きについても役場と進めているところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 役場と区のビジョンを共有し、役場と一体となって森林管理署に相談をする。 ◇ 林野庁と相談しながら手続きを進めていきたい。 ◇ 区の理事会などで地域住民の合意形成をして、役場に理解してもらおうのがよい。 ◇ 区の話し合いについても役場や環境省と連携して進めていくのがよい。
今後のWSの進め方	<ul style="list-style-type: none"> ● 慶良間諸島ステップアッププログラム2025の終了後、2026年以降の計画でこのWSをどのように進めていくか意見を聞きたい。 	<p><WSの進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ WSを重ねていくうちにまとまると感じるため、参加者を増やしてこのままの形式でWSを進めていきたい。 ◇ 役場に区の意見を聞いてもらい、各団体のルールを村全体のルールとしていけたらよい。またその中でまとめて1つの協会を作ることや、連携が取れるとよい。 ◇ 1つのグループで議論すれば、参加者が少なくても開催できる。さらにテーマが3つほどあれば活発な議論ができる。 ◇ 今後、実際に取り組みを進めていくために必要な段取りや解決方法の情報共有の場としたい。 <p><新しい参加者について></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 参加者は団体の代表か組織を動かせる人がよい。 ◇ 商工会や観光協会と相談して参加メンバーを増やしたい。 ◇ 意見のある人が積極的に参加できるとよい。

あいさつ

第1回ワークショップにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
 第2回ワークショップは、11月上旬に開催し、取組成果や課題について話し合う予定です。
 引き続き、よろしくお願いいたします。